

釜石市復興まちづくり計画

スクラムかまいし復興プラン

未来の子どもたちに贈る新たな希望の「光」づくり

骨子案 2011.6.24 版

- ・ この骨子案に対して、市民の意見を組み入れて加筆修正を繰り返し、計画を策定します。
- ・ 現段階では国の施策方向が未詳のため、今後決定される施策方向にあわせて調整しながら、計画を策定します。

釜石市



保存日時：6/24/2011 10:54 AM

ファイル名： 委員会資料 復興まちづくり計画骨子（素案）



撓まず屈せず

平成 23 年 3 月 11 日の発災後、3 ヶ月を経過しました。いまだに、多くの方々が避難所での生活を余儀なくされ、また、仮設住宅での生活を始められた方々も多くおられます。まちでは、がれき処理や都市施設の再建が進められており、このまちが、震災前の機能を取り戻すまでには、まだまだ相当の時間が必要になるとみられます。

一方で、このような復旧作業と並行して、復興まちづくりにかかわる様々なとりくみが始動しています。たとえば、従前からの人と人のつながりや地域コミュニティをいかした様々な活動が展開されています。また、市外・県外からも多くの方々が応援に訪れたり、様々な支援をいただいたりして、新たな絆が築かれてきました。

このような市民や支援者の力を結集して、復興に向けたビジョンと取り組みを検討するため、復興まちづくり計画の策定作業に取りかかりました。復興に向けた議論や行動が確かな復興へと結実するように、決して撓むことなく、屈することなく、復興を果たすべく邁進してまいります。

釜石市長 野田 武則



保存日時：6/24/2011 10:54 AM

ファイル名： 委員会資料 復興まちづくり計画骨子（素案）



目 次

1 復興ビジョン 1

1-1 釜石市復興まちづくり計画とは	1
1-2 基本理念と目標像	2
1-3 基本方針	4
1-4 復興まちづくりの基本目標	6

2 新しい希望の光づくりへの挑戦 7

（基本目標に沿って展開する取り組み）

3 震災をのりこえる地域づくりの推進 12

3-1 地域連携網の強化	12
3-2 被災地域復興の考え方	13
3-3 被災支援地域活性化の考え方	23



保存日時：6/24/2011 10:54 AM

ファイル名： 委員会資料 復興まちづくり計画骨子（素案）



東日本大震災からの復興 撓まず屈せず
釜石市

1 復興ビジョン

1-1 釜石市復興まちづくり計画とは

(1) 計画策定の趣旨

釜石市復興まちづくり計画（以下「本計画」という。）は、被災地域の早期復興と新しいまちづくりに向け、関係者が共通の認識を持って取り組むための「まちづくりのビジョン」とこれを具体化するための「施策」をまとめるものです。

策定の過程において、委員会、懇談会やワークショップなど様々な会議を通して、市民の意見を採り入れながら、市民目線に適った計画を目指すものです。

(2) 計画の性格及び役割

本計画は、現時点で釜石市のまちづくりの指針を示す総合計画が未策定であることから、向こう 10 年間のまちづくりの基本的な方向性を示す総合計画に準ずる役割をもつ計画として策定します。

また、施策の推進にあたっては、市民、事業者及び行政それぞれが果たす役割を明確にし、協働のもとでのまちづくりを推進する際の目安とします。一方、国や県に対しては、関係する施策への理解を求め、その促進を図るための役割をもちます。

この計画に基づいて多様な議論が展開され、さらに発展した計画への進化することを目指します。

(3) 計画期間

本計画は長期的な釜石市のあり方を展望しながら、今後 10 年間の計画期間とします。途中の短期 3 年、中期 6 年のそれぞれ中間目標を定めます。



(4) 計画の課題

被災地域の1日も早い復旧と復興を図るとともに、過去の歴史に学び、英知と総力を結集して、当市が有する様々な資源を活用しながら、地域の新たな活路を見出していく必要があります。

1-2 基本理念と目標像

(1) 基本理念

海・山・川の豊かな自然に恵まれ、豊かな暮らしが営まれてきた釜石。いくたびの災害、そして戦災にも、不撓不屈の精神で打ち克ち、見事に復興を遂げてきました。この精神に裏付けられた力強い意志で、豊かな自然環境と人間活動がしなやかに調和しながら、美しく、力強い釜石が継承されてきました。

今回の災害にも撓むことなく、屈することなく、この「ふるさと釜石を再興すること」を本計画の基本理念とします。

(2) 目指すべき地域の将来像

釜石市は、製鉄や漁業などを中心に、ほかの市や町にさきがけた先進的なまちづくりが行なわれてきた歴史があります。また、津波や戦争による被害をのりこえてきた歴史もあります。美しいふるさと釜石の再興は、多くの人の共通の願いです。市民一人ひとりが手をとりあって、また私たちのまちを応援してくれる多くの人の力を借りながら、「三陸の大地に光輝き、希望と笑顔があふれるまち釜石」を目指して、力強い一歩を踏み出します。

目指すべき地域の将来像：

三陸の大地に光り輝き、希望と笑顔があふれる釜石

被災した三陸の地で、

美しい海や山や川の豊かな環境のもと、

ものづくり産業や水産業が力強く、復活・発展し、

人々の笑顔が輝く、

希望に満ちたまちを目指します

(3) 計画の推進

本計画は、市民の総参加により策定します。これまで築き上げてきた市民活動・行政・民間企業などの多様な連携ネットワークを活用するとともに、被災を契機に全国各地との新たに生まれた多様な連携・連帯をさらに発展させながら、より力強く推進していきます。



1-3 基本方針

災害との闘いに終わりはありません。私たちがこれからも美しいふるさと釜石で暮らし続けるためには、これまでのまちづくり方針を足元から見直さなければなりません。安心した暮らしを取り戻し、未来を担う子どもたちの笑顔が輝く釜石にしていくため、多くの犠牲から得た教訓を活かし、市民の総参加のもと、東日本大震災からの復興を果たします。そして、より強く、より魅力的で希望のもてるまちづくりを実現していきます。

災害に強い都市構造への抜本的転換

今回の津波災害によって破壊された防浪施設の復旧に加えて、道路や鉄道などによる二重、三重の津波防御のしくみや、津波に対するしなやかな土地利用、避難路や避難場所の整備など、まちを物理的に避難しやすい構造に造りかえることなど、まちのつくりかたによって人々の生命・財産を災害から守ります。

そして、これらの防御施設に頼るだけではなく、個人自らの力で、あるいは家族・地域がともに支え合いながら、生命を守り抜くことが大切です。このような、個人のパワーアップや、人と人のつながり強化など広い意味での『災害に強い都市構造』を実現していきます。このため、防災教育などをおして、津波てんでんこが教え伝える防災意識の継承により、あらゆる災害から人々や地域を守るしくみを実現します。

この地で生き続けるための生活基盤の再建

この地で生き続けるために欠かせない生活基盤を早急に再建するため、災害で失われた住宅や商店、医療・福祉施設、生活関連公共施設、地域コミュニティなどの復旧・強化を推進します。

また、がれき処理や仮設住宅での生活環境、コミュニティ維持など復旧の過程での課題に対応しながら復興を進めます。

逆境をバネにした地域経済の再建

生産活動や地域経済への大きなダメージからすみやかに復旧し、さらに発展への足掛かりとするため、逆境をバネにした地域経済の再建を図ります。このため、新たな産業興しを図ったり、災害復旧関連事業や復興関連事業による地域経済への波及効果を高めたりする取り組みを進めます。

子どもたちが未来に希望を持てるまちづくり

私たちは、災害時に避難誘導役を見事に果たした、世界に誇れる子どもたちが身近にいることを確認しました。この子どもたちのファインプレーを地域の誇りとして語り伝えるとともに、防災に対する意識を地域の財産として永く培っていきます。この誇りを礎として、釜石市の将来を担う子供たちが未来に希望を持てるまちづくりを進めていきます。

1-4 復興まちづくりの基本目標

復興まちづくりは今回の被災を通して得られたまちづくりへの教訓や新たにつながった内外の絆を活かして、釜石市全域の将来像の実現をめざします。そこで、前述の基本方針に沿って、次の7の基本目標のもとで各種施策を展開し、子どもたちの未来に希望の光があふれる釜石を贈ります。

復興まちづくりの基本目標

災害に強い都市構造への抜本的転換

基本目標1：自然と共生した安全なまちづくり

基本目標2：絆と支えあいを大切にするまちづくり

この地で生き続けるための生活基盤の再建

基本目標3：生活の安心が確保されたまちづくり

基本目標4：人やもの、情報の交流拠点づくり

逆境をバネにした地域経済の再建

基本目標5：ものづくり精神が息づくまちづくり

子どもたちが未来に希望を持てるまちづくり

基本目標6：強く生き抜く子どもを育てるまちづくり

基本目標7：歴史文化やスポーツを活かしたまちづくり

2 新しい希望の光づくりへの挑戦

新しい希望の光づくりに向けて、先に示した7の基本目標に沿って、次のような取り組みを展開します。

は主要プロジェクト

基本目標 1：自然とともに暮らす防災環境まちづくり

(1) 減災を重視したまちづくりの推進

防浪施設の復旧

命てんでんこネットワーク形成

- ・ 地域の状況に応じた安全確保対策の推進
- ・ 命を守る生活道路網の整備
- ・ 地域防災機能の強化
- ・ 防災意識づくりの推進
- ・ 防波堤、防潮堤、河川堤防などの防災基盤の早期復旧
- ・ 避難場所及び避難路の再整備
- ・ 津波災害の被害想定及び検証
- ・ 危機管理体制の強化

(2) 地球環境への貢献と自然エネルギーの活用

スマートグリッドの導入

- ・ 森林整備と資源の活用
- ・ 再生可能エネルギーの利用拡大
- ・ 海浜の復元と保全
- ・ 国立公園の再整備





安全確保の考えかた

複数の防潮施設による防御

避難路・避難場所の整備

標高ごとの土地利用の誘導

避難ビルの整備、建築物での対応

基本目標 2：絆と支えあいを大切にするまちづくり

- ・ 地域医療の再構築
- ・ 医療・介護の拠点整備
- ・ 見守りネットワークの再構築
- ・ 地域が一体となった安心子育て環境の整備
- ・ 公共公益施設の適正配置と再整備
- ・ 応急仮設住宅の適正な維持管理

基本目標 3：生活の安心が確保されたまちづくり

復興公営住宅の整備

医療福祉介護機能の向上

主要公共公益施設の再建

- ・ 地域コミュニティの維持再生
- ・ ライフラインの復旧と維持
- ・ 電気・ガス・水道・下水道等の復旧整備
- ・ 被災者に対する生活支援、住宅支援及び就業支援
- ・ 災害に強い住宅の整備
- ・ 復興公営住宅の整備

基本目標 4：人やもの、情報の交流拠点づくり

(1) 交通ネットワークと物流拠点機能の形成

高規格幹線道路・集落間連絡道路ネットワーク形成

- ・ 高規格幹線道路網の整備
- ・ 釜石港の復旧及び機能向上
- ・ 国県道等主要幹線道路の復旧及び機能向上
- ・ 鉄道の復旧と利用促進
- ・ 高規格幹線道路網（復興道路）の整備



(2) 観光交流の多様な展開

- ・被災地支援活動の取込み
- ・世界遺産登録への取組み
- ・スポーツを中心とした交流づくり
- ・グリーンツーリズムの展開
- ・海を活用したにぎわい空間の整備

基本目標 5：ものづくり精神が息づくまちづくり

中心市街地の再興

新たな公共埠頭開発

新産業拠点の造成

- ・鉄と電力・エネルギーの拠点展開
- ・魚のまちの早期復活
- ・新しい技術産業の創出
- ・大学等連携した海洋産業の振興および海洋水産に係わる人材の育成
- ・中小企業者への事業再開支援

基本目標 6：強く生き抜く子どもを育むまちづくり

防災モデル校の整備

- ・学校教育と心のケア対策の推進
- ・防災教育の推進
- ・教育環境の整備
- ・被災校舎の早期復旧及び再建

基本目標 7：歴史文化を継承するまちづくり

津波記念館、鎮魂公園の整備

- ・震災の伝承とメモリアルパークの整備
- ・釜石フィールドミュージアム（地域博物館構想）の推進
- ・史跡芸術文化等の再構築

3 震災をのりこえる地域づくりの推進

3-1 地域連携網の強化

地域連携網の強化は、平常時の産業経済を支えるうえで重要であるとともに、災害時には命をつなぐルートとしてきわめて重要です。

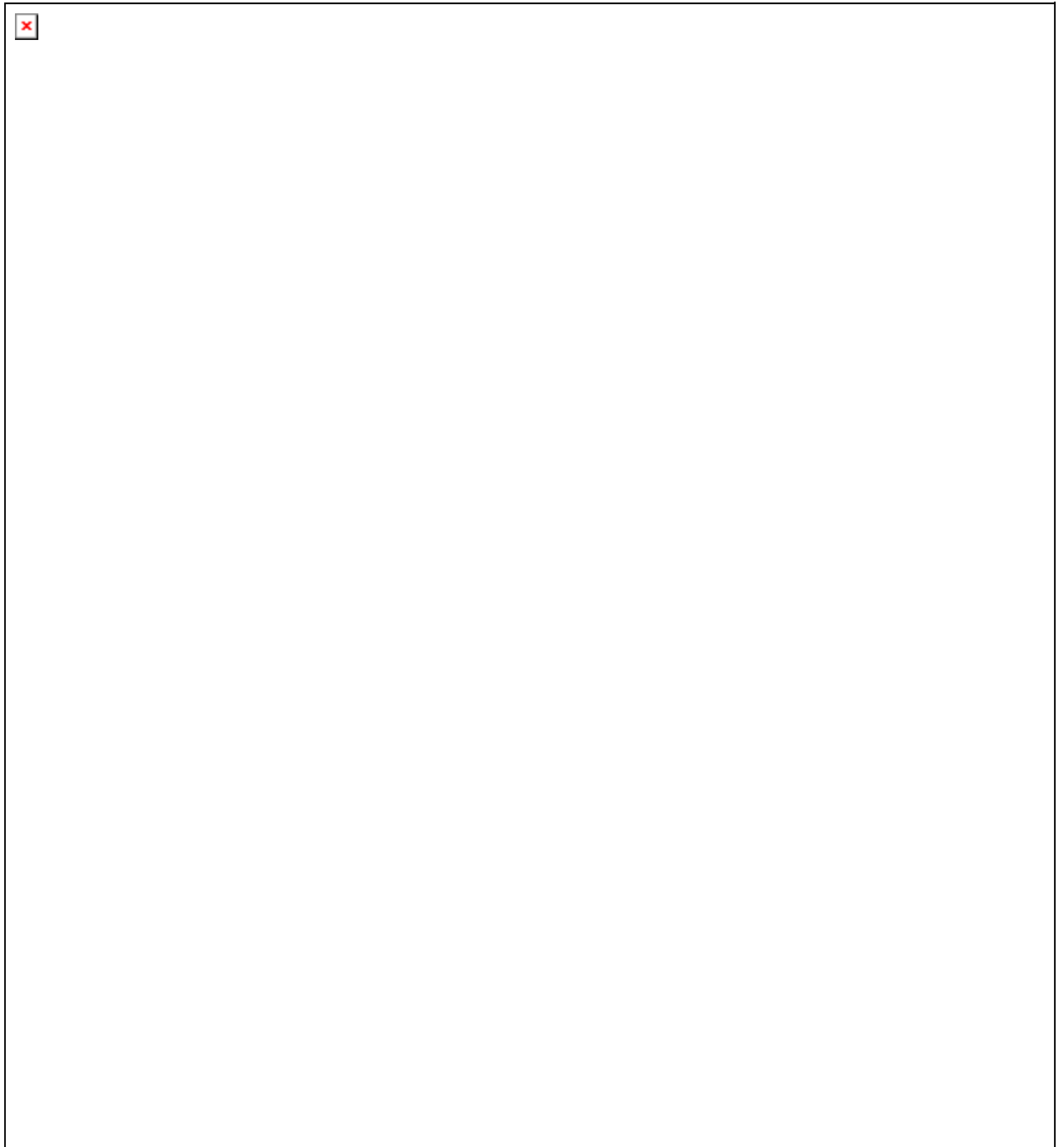


図 命をつなぐ連携網の整備イメージ

3-2 被災地域復興の考え方

（１）鵜住居地域復興の考え方

- ・自然の再生に配慮したまちづくりの展開
- ・土地利用ゾーニングの明確化
- ・重畳する防浪施設整備や居住地の嵩上げ、高台移転による安全安心度の向上
- ・水産業の再生、観光交流拠点の整備などによる地域の活性化
- ・集落の集約による生活圏の再編成

安全に暮らせるまちの実現

- ・多重防御堤防、海岸林、水門整備など方式の導入
- ・鉄道、道路への防浪機能の導入
- ・居住地の嵩上げ、高台移転
- ・道路ネットワークの再編
- ・集落の再編整備

生活基盤づくり

- ・居住地の再編集約
- ・ライフラインの復旧整備
- ・複合機能住宅整備
- ・福祉介護施設整備

地域経済の再建

- ・水産業及び関連産業の振興



- ・ 観光交流産業の振興
- ・ 企業誘致の推進

新たな希望づくり

- ・ 防災教育拠点の整備
- ・ トライアスロンコースの復活
- ・ 海浜の再生
- ・ 鎮魂の森整備
- ・ 交流拠点「道の駅」整備
- ・ 教育施設群の整備
- ・ 番屋漁業の展開
- ・ 新規産業の創出

鵜住居地域復興整備イメージ

鵜住居地域の復興整備イメージは次の通りである。



鵜住居地域復興整備イメージ



（２）釜石東部地域復興の考え方

- ・ 既存市街地の防浪機能を強化
- ・ 水産ゾーン、商業ゾーン、住宅ゾーン等の明確化
- ・ にぎわい拠点を面的に展開し、集客性と回遊性の向上
- ・ 港湾機能の拡充による物流の活発化
- ・ 海岸付近の企業活動の早期再建

安全に暮らせるまちの実現

- ・ 湾口防波堤の復旧
- ・ 水際線対策（防潮堤、水門整備）
- ・ 陸地防波堤整備
- ・ 防浪ビル整備
- ・ 職住分離
- ・ 避難経路の確保

生活基盤づくり

- ・ 防浪ビル整備と市街地再編
- ・ 公共公益施設の整備
- ・ 複合機能住宅整備
- ・ ライフラインの復旧整備

地域経済の再建

- ・ 水産業及び関連産業の振興

- ・ 観光交流拠点の整備
- ・ 商店街の再編整備
- ・ 港湾機能の強化
- ・ 製造業の復活

新たな希望づくり

- ・ 新魚市場の整備
- ・ 伝統的な地域の顔の復活（例；橋上市場・呑兵衛横丁のような）
- ・ 海岸観光交流拠点の整備
- ・ 祭り・イベントの展開

釜石東部地域復興整備イメージ

釜石東部地域の復興整備イメージは次の通りである。



東部地区整備の考え方

1. 安全なまちにする
 - ・ 幾重にも連なる防潮堤（施設）によって津波を防御する
 - ・ 避難路・避難場所・避難連絡路のネットワーク（てんでんこネットワーク）
 - ・ 標高区分に基づく、土地利用の誘導
2. にぎわいのあるまちにする
 - ・ 行政・公共施設エリア：行政機関や公共施設の集積するエリアを形成してにぎわいをつくる
 - ・ 文化発信エリア：文化施設を集積するエリアを形成してにぎわいをつくる
 - ・ 海のにぎわいエリア：水辺の観光スポットを形成してにぎわいをつくる

（ 3 ）平田地域復興の考え方

- ・ 高台部に居住地を確保し、安全な居住空間を確保
- ・ 海岸付近では、水産業及び関連業種を展開
- ・ 研究開発施設の再建により研究開発機能の強化

安全に暮らせるまちの実現

- ・ 水際線対策（防潮堤、水門整備）
- ・ 高台移転の促進

生活基盤づくり

- ・ 住宅団地整備
- ・ 複合機能住宅整備
- ・ 道路ネットワークの再編
- ・ ライフラインの復旧整備

地域経済の再建

- ・ 水産業及び関連産業の振興
- ・ 研究開発拠点整備

新たな希望づくり

- ・ 住宅団地整備
- ・ 復興生活道路整備
- ・ 三陸鉄道の復旧
- ・ 研究開発ゾーンの復旧
- ・ 三陸鉄道の復旧

平田地域復興整備イメージ

平田地域の復興整備イメージは次の通りである。



平田地域復興整備イメージ



（４）唐丹地域復興の考え方

- ・ 高台部に住宅地を確保し、安全な居住空間を確保
- ・ 海岸付近では、水産業及び関連業種を展開
- ・ 地域資源を活用した観光交流拠点を整備
- ・ 集落の集約による生活圏の再編成

安全に暮らせるまちの実現

- ・ 水際線対策（防潮堤、水門整備）
- ・ 高台移転の促進
- ・ 集落の再編整備
- ・ 道路ネットワークの再編

生活基盤づくり

- ・ 居住地の再編集約
- ・ ライフラインの復旧整備

地域経済の再建

- ・ 水産業及び関連産業の振興
- ・ 観光交流産業の振興

新たな希望づくり

- ・ 桜による地域振興（並木の再生、まつり広場整備）
- ・ 教育施設群の整備
- ・ 鮭川の復活と観光化
- ・ 三陸鉄道の復旧
- ・ 自然レクゾーンの整備

唐丹地域復興整備イメージ

唐丹地域の復興整備イメージは次の通りである。



唐丹地域復興整備イメージ

3-3 被災支援地域活性化の考え方

中妻地域、小佐野地域、甲子地域、栗橋地域は、津波被害を免れることはできたものの、身内を失い、インフラや公共サービス機能が停止した上、被災者の受入などこれまでと大きく異なる生活を余儀なくされています。

中妻地域、小佐野地域、甲子地域、栗橋地域といった被災支援地域が活性化しなければ、鵜住居地域、釜石東部地域、平田地域、唐丹地域といった被災地域の復興を果たすことができません。

被災地域の復旧復興が急がれるものの、被災支援地域の活性化も合わせて推進し、釜石市民が一丸となってスクラムを組み、釜石の復興を前へ前へと進めていきます。そして、未来の子どもたちに新たな希望の「光」を贈ります。